

- 1面 横浜市、南本牧最終処分場延命化対策実施中
- 2面 南本牧第2ブロック廃棄物最終処分場の延命化方法について

横浜市、南本牧最終処分場延命化対策実施中

横浜市ではごみ焼却灰など廃棄物の市内唯一の最終処分場として、南本牧ふ頭の第2ブロック処分場で埋め立てを行なっています。そして隣接する第5ブロックでは、次期処分場としての施設整備を進めています。

廃棄物処理の安定性と継続性は、市民生活にとって非常に大切なものです。横浜市は現在、第5ブロック処分場開設予定の平成29年10月まで、第2ブロック処分場延命化対策に力を入れています。



横浜市会議員(都筑区選出)

長谷川たくま (琢磨)

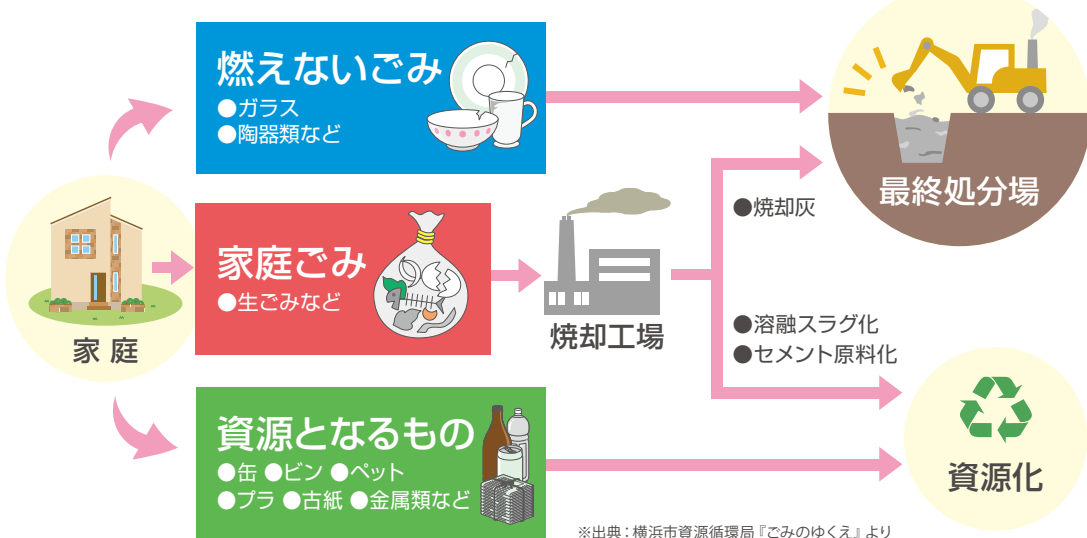
力強くたくましく



- 昭和54年生まれ(37才) 横浜市都筑区東方町在住
- 2015年4月横浜市選挙 都筑区より初当選

家庭ごみと資源のゆくえ

横浜市では、燃やすごみ、事業系ごみ、可燃性の粗大ごみは、焼却工場で燃やします。燃やした後の灰や燃えないごみは、埋め立て処分場で処理しています。神明台処分場が平成23年に埋立終了となったため、南本牧廃棄物最終処分場は、横浜市内唯一の廃棄物最終処分場となっています。



都筑区は横浜市内で平均年齢が最も若く、現在都市開発が進行中の元気な区です。価値観や生活様式が多様化するなか、「都筑区に住んで良かった」と思える地域を作り上げるため、しっかりと皆さんの声を市政に届けてまいります。

横浜市会議員 長谷川たくま

南本牧第2ブロック廃棄物最終処分場の延命化方法について

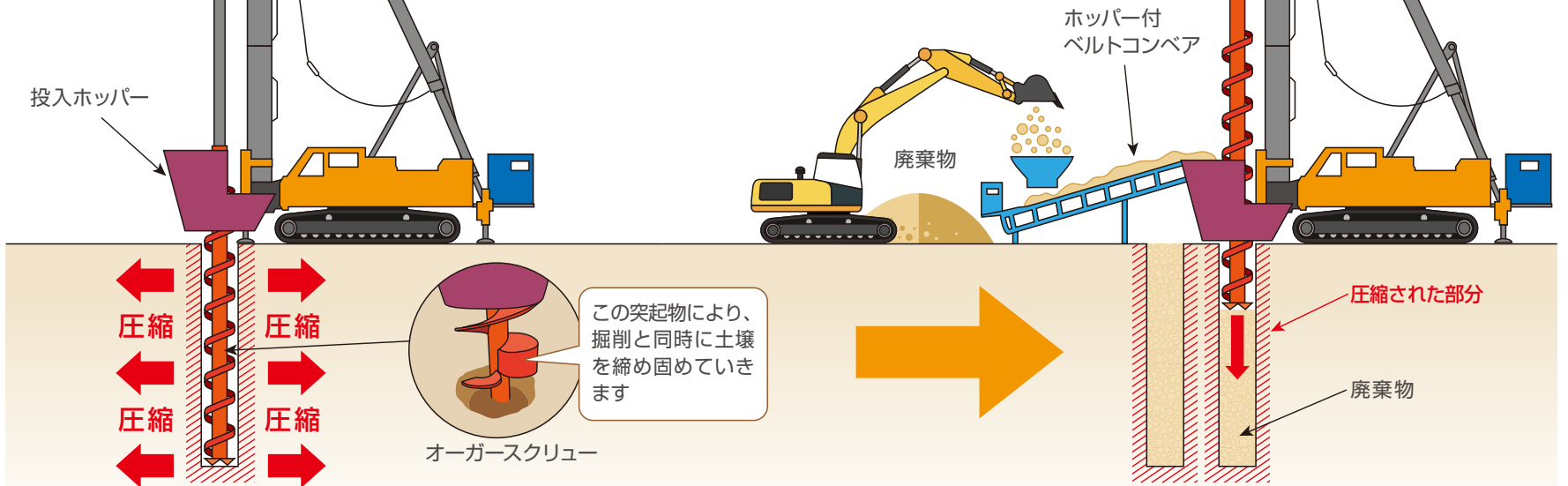
① 掘削段階

高密度化工事の施行方法 (静的圧縮減容化工法)

② 埋戻段階

延命化対策とは図のように、1.25m間隔に1本の掘削孔を打ち、焼却灰をさらに圧縮して埋め込む高密度化工事のことです。総数約6万本の掘削孔を打つことで、約2m地面を押し下げたのと同程度の効果があり、更なる焼却灰埋設を可能とすることで最終処分場延命化に役立っています。

※出典：横浜市資料『南本牧第2ブロック廃棄物最終処分場の延命化について』より



横方向に圧縮し、空間を生み出す



掘削孔に廃棄物を埋め直す

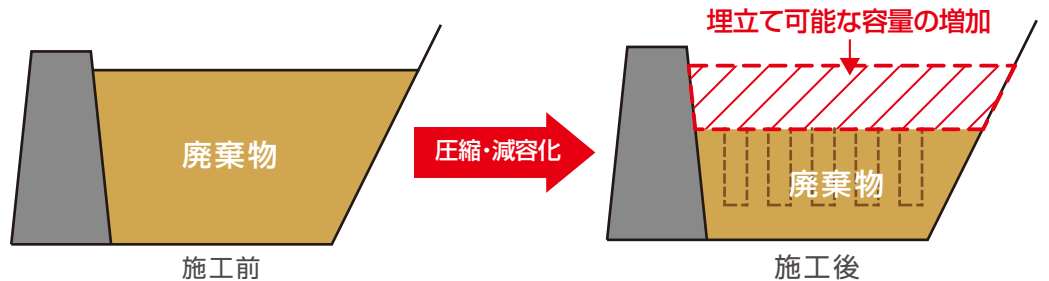


同工程を1.25m間隔で行なう



高密度化工事の効果

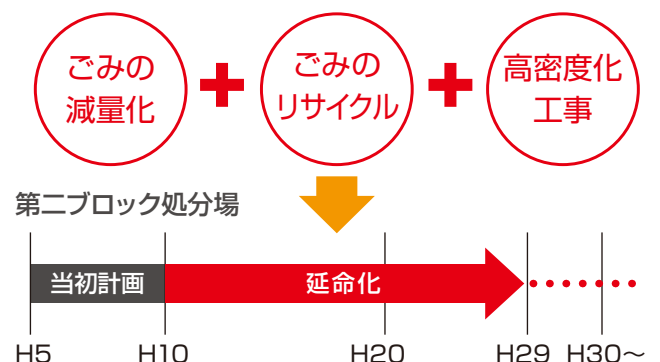
約6万本の掘削孔を打つことで、約2m地面を押し下げたのと同程度の効果があり、埋立て可能容量の増加を図ることができます。



これからも快適な生活を維持していくために

高密度化工事も重要ですが、延命化対策の基本はごみの削減です。平成5年11月から使用開始された第二ブロック処分場は、本来であれば約10年で満杯になり埋め立て終了となる予定でしたが、横浜市の進めるG30・ヨコハマ3R夢(スリム)プランの取り組みのおかげで現在まで延命し稼働中です。最終処分場建設は、予定地確保すら難しいのが実態です。廃棄物処理の安定性と継続性の観点から、今ある最終処分場と現在建設中の次期最終処分場を少しでも長く使用可能とするため、無駄なごみの削減が必要です。

G30・ヨコハマ3R夢(スリム)プラン



長谷川たくまはこう思う 横浜市議員(都筑区選出)

最終処分場建設は、予定地確保すら難しいのが今の実態です。廃棄物処理の安定性と継続性の観点から、今ある最終処分場と現在建設中の次期最終処分場を少しでも長く使用可能とするため、無駄なごみの削減が必要です。ぜひごみの削減及び分別にご協力ください。